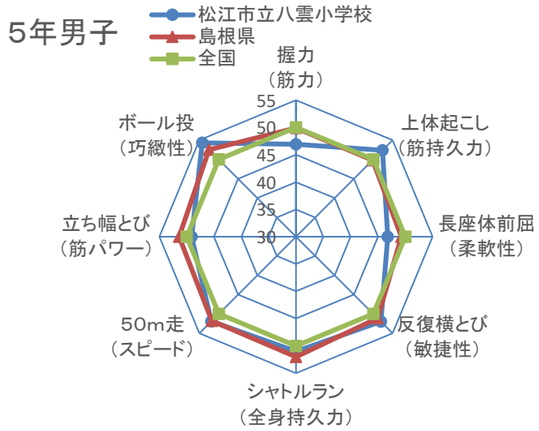
【資料1】

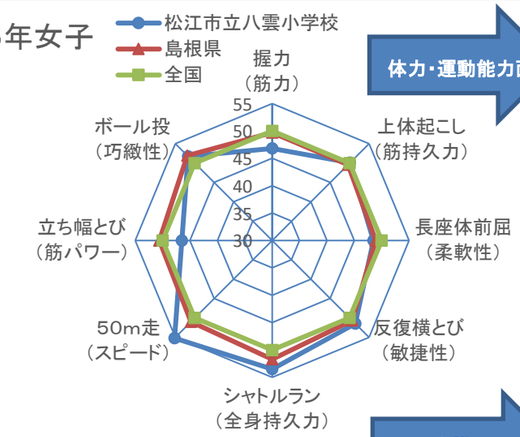
令和5年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和6年3月29日

松江市立八雲小学校

（1）令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（全国平均を50としたときの比較）

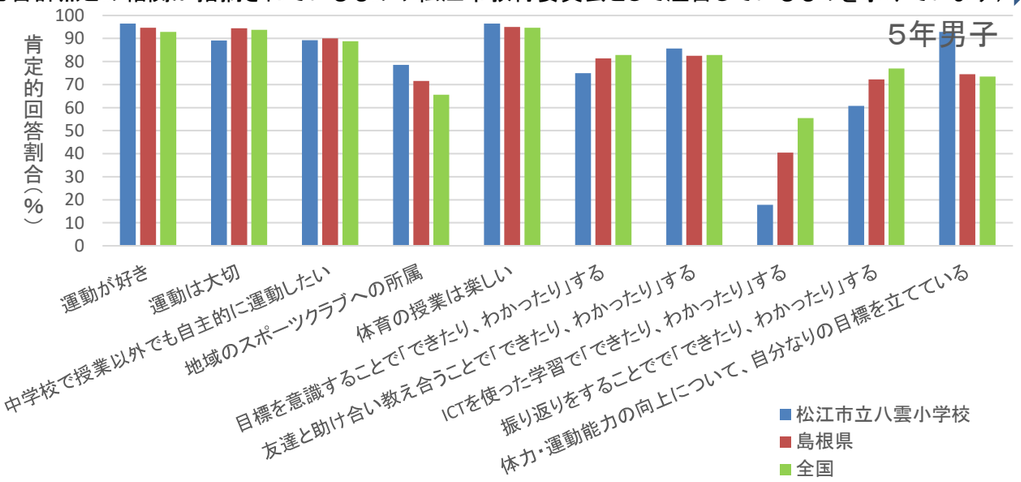


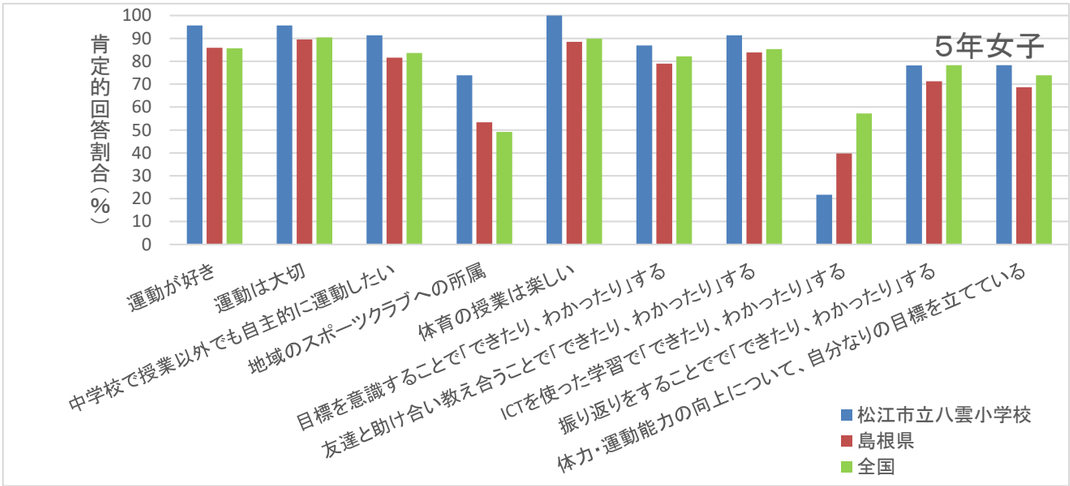


体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）





（2）調査結果の分析

①体力・運動能力面　全国（偏差値）との比較

	握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）	反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（スピード）	立ち幅とび（筋パワー）	ボール投（巧緻性）
男子	−3.1	2.4	−3.2	2.0	1.0	1.9	−0.9	4.3
女子	−3.2	0.1	−1.5	1.5	3.5	5.2	−3.5	1.7

【−5p以上】	【−5〜−2p】	【−2〜0p】	【0〜2p】	【2〜5p】	【5p以上】

弱み ← → 強み

②意識面　全国（割合%）との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	3.6	−4.6	0.5	13.0	1.8	−7.8	2.9	−37.7
女子	10.0	5.3	7.7	24.7	10.1	4.7	6.0	−35.5

	振り返りをすることでで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	−16.3	19.4
女子	−0.1	4.4

【−7%以上】	【−7〜−3%】	【−3〜0%】	【0〜3%】	【3〜7%】	【7%以上】

弱み ← → 強み

（3）令和6年度の方針【学校全体での取組】

1.筋力(◇)・走力(◆)の向上
・鉄棒運動については低学年からの身につけさせたい力を明確にし、系統的な指導をしていく。校内の逆上がり達成率50%をめざす。(◇)
・本校の子どもたちの普段の清掃の実態から、清掃の指導の共通理解を図り、「机を持って運ぶ」、「雑巾を水が垂れてこなくなるまで絞る」、「床を力を入れてふく」など指導を行う。(◇◆)
・校内ロードレース大会を企画し、それに向け、マラソンカードを使った体力づくりに取り組み、児童の意欲を高めるとともに、継続的に運動量を確保する。(◆)

2. 授業以外の活動の充実
・走力・持久力を高めるため「校内ロードレース大会」を企画する。
・なわとび集会を企画し、冬場の運動量を確保する。
・学期に1回、休み時間に児童が企画・運営するスポーツイベントを実施し、児童の運動に対する意識の高揚、体力の向上、活躍の場の増加、よりよい人間関係の育成を図る。
・器械運動発表会に出場し、それに向けた練習を行う。

3. 授業改善
・タブレット端末を積極的に使用し、自己の動きを客観的に捉え、運動の質を向上させる。また、体育科授業内でのタブレット端末使用率を高めるため、効果的な使用方法について校内で研修を行う。
・授業の開始を児童を主体とした準備・ウォーミングアップにするよう、児童が主体的・協働的に、そして安全に行えるための場の設定をする。
・児童が自己の成長から喜びを感じられるような授業の計画、実施、ふりかえりの充実を図る。

4. 家庭との連携
・スポーツテストの結果を個票にして各家庭に配布して児童の運動能力についてお知らせする。
・学園合同で行っている「すこやか健康チャレンジシート」を実施し、各家庭で規則正しい生活を送ることができるよう、呼びかける。